

(様式1)

校 種	小 ・ ④ どちらかに○	学校番号	1 2	学校名	宇都宮市立瑞穂野中学校
-----	-----------------	------	-----	-----	-------------

平成26年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

人間尊重の精神を基盤に、豊かな心と個性をもち、自主性・創造性を発揮して、21世紀をたくましく生きる人間を育成する。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など） ()内は生徒の指標

- 心身ともに健康で、気力あふれる生徒 (強 く)
- 自ら学び、創造性に富む生徒 (賢 く)
- 勤労を尊び、責任感のある生徒 (明るく)
- 思いやりがあり、心豊かな生徒 (親切に)

2 学校経営の理念

生徒相互が個性を認め合いながら、学習や行事、部活動などに目的意識をもって取り組む中で、すべての生徒が、自分のもつよさを自覚し、将来に希望をもって努力しようとする生徒を育成する。

そのために、教職員は自己に与えられた使命を自覚し、自己研鑽に励み、ひいては保護者や地域住民から信頼される学校を目指す。

3 学校経営の方針

[瑞穂野地域学校園 教育ビジョン]

9年間の連続した学びの中で「生きる力」を育てる小中一貫教育
～ 瑞穂野地域 学力向上プロジェクト ～

- (1) 9年間を見通して生きる力を育む小中一貫教育の最終段階として、学びを広げ深められる環境を整える。
- (2) 生徒が安心して自分の成長と向き合うことができるように、公正で温かな学校づくりに努める。
- (3) 教職員としての使命と責任を自覚するとともに、常に自己研鑽に励み、専門職としての指導力の向上に努める。
- (4) 教職員は多様な生徒の存在を認識し、生徒と教職員の人間的な触れ合いを深め、人権感覚を磨きながら、生徒理解や指導方針に基づく生徒指導を推進する。
- (5) 教師自ら豊かな心と愛情を持ち、全校的な協力体制のもとで、本校の歴史と伝統を生かした、調和と統一のある教育活動を展開推進する。
- (6) 教科、道徳、特別活動及び総合的な学習の時間を通して、生徒自らが考え行動できる資質を養うため、創意ある教育課程編成に努める。
- (7) 小学校や保護者・地域社会との連携を密にし、開かれた学校を目指し、特色ある学校づくりに努める。

4 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

（１） 学校運営

- ・全職員が学校の課題を共有し、組織的な解決を目指した職員研修を行う。
- 豊かな心を育むための道徳の授業法の研究を行う。

（２） 学習指導

- ・学習習慣の確立を目指した指導方法の研究
- ・言語活動を取り入れた授業の研究
- ・思考力を高めるための指導方法の研究
- ・基礎学力の定着を目指したスタンダードテストの推進

（３） 児童生徒指導

- ・思いやりの気持ちを持ち、正しい判断のもと、粘り強く最後までやり遂げることができる生徒の育成

（４） 健康（保健安全・食育）・体力

- ・教育活動全体を通して、体育的活動を充実させ、体力の増強を図る。
- 全校体育（体力づくり）の工夫と積極的に実施することにより、心身ともに健康な生徒の育成を図る。
- ・休み時間や放課後等の運動を奨励し、自ら体力の向上に努める。
- ・運動部活動への参加呼びかけや指導体制の確立、効果的な指導の工夫を図る。
- ・施設・管理の安全管理や事故防止の強化を図る。

5 学習指導、児童生徒指導、健康（保健安全・食育）・体力に関する取組

※ 様式2～4参照

6 特色ある学校づくり等に関する取組

（１） 育てたい資質・能力

友達や教職員、地域住民とのかかわりを深め、協力して行う活動を体験する中で、地域の良さを自覚し郷土への親近感を持ち、社会の一員としてよりよい生活を築いていこうとする意欲と態度の育成

（２） 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

① 学校行事、生徒会活動

- ・体育祭での高齢者との交流
- ・文化祭での保護者、地域の子どもや高齢者、障がい者との交流
- ・地域学校園内の特別養護者人ホームでの委員会生徒を主体とするボランティア活動
- ・水田耕作体験（2年）
- ・地域学校園内小学校との中学校を紹介するための交流活動
- ・地域の行事（瑞穂野地区れんげ祭り、瑞穂野地区農業祭・文化祭等）へのボランティア活動

② 総合的な学習の時間

○◇地域の方々を指導者に迎えて行うホタルの飼育体験学習（1年）

7 本市の重点施策・事業と関連する取組

(1) 「小中一貫教育・地域学校園」に関する取組

- ・義務教育の最終段階である中学校で生きる基礎・基本の定着を図るための、「瑞穂野プラン学習」を改善する。
- ・学校園の道徳的課題について小中学校が系統立って解決するため「ユニット化指導計画」を作成し実践する。
- ・学習するための基本的な能力（学習力）育成のために、学業指導やノート指導の改善を図る。
- ・一人一人が明確な目標を持って運動に取り組めるようにするため、基準を作成する。

(2) 「地域とともにある学校づくり」に関する取組

- ・魅力ある学校づくり地域協議会との連携を促進させる。
- ・地域主催の行事へのボランティア活動を推進する。
- ・学校情報を発信する。（学校ホームページの活用）

(3) 「宮っ子心の教育」に関する取組

- ・様々な分野で頑張った生徒を積極的に賞賛する機会を設ける。（朝会などを活用）
- ・体験と関連を図った道徳教育の推進